

植松書樹 ウツノキ 歌人。明治二十二年二月十六日東京生れ。昭和二十九年二月二十一日没（一九〇一—一九五〇）。筆名植松寂夢、植松霞袖。大正六年慶應義塾大学學理理財科卒。銀行員、會計員を経て、十二年浄土宗と之中學校教員。窪田空穂の前導し、歌誌『國民文學』の創刊同人となる。昭和二十一年『沃野』創刊主宰。

著書『白露集』（合著・窪田通治・松村英一編、明治四十年九月十一日文藝社）、歌集『庭燎』（大正十年八月十日、改版・十四年十月一日紅玉堂書店）『國民文學叢書』（、『橘曙齋歌集』（大正十五年一月二十日紅玉堂書店）『新澤村歌叢書』（、『歌集』『光化門』（大正十六年一月一日紅玉堂書店）『國民文學叢書』（、『解質戎翁家集』（昭和二年一月二十五日紅玉堂書店）『近世萬葉調短歌集成』（、『作歌入門』（合著・山本三生編、昭和十一年五月二十日改造社）『短歌作法講座』（、『平賀元義歌集』（野田實共編註、昭和十二年九月十六日改造社）『改造文庫』（、『歌集』『枯山水』（昭和十四年十月二十日、特製・十一月十日砂子屋書房）『國民文學叢書』（、『向白玉の木』（昭和二十九年十一月二十日白玉の木刊行会、新屋書房）『沃野叢書』（）等。

